

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	小島 薫
2. 研究課題名	臨床におけるガ(蛾)特異的IgE感作の現状と背景
3. 研究の概要	<p>当院アレルギー科は、日常の診療を通じて、アレルギー疾患の発症にガ(蛾)が関与していることが疑われる場合があることに気づき、ガ特異的IgEがハウスダスト、ダニ、スギに次いで多く、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎で感作率が高い傾向がみられることを報告しました。今回、ガ特異的IgEを検査した患者さんの背景因子を細かく分析すると同時にBurkard Sampler(大気中花粉等回収器)で回収された日ごとの1m³あたりの空中鱗粉数をカウントし、ガの多い時期や気象状況との関係を調査し、治療および予防に役立てることを目的としました。</p> <p>1. ガ特異的IgE値の解析 対象: 2015年1月から2018年12月までのガ特異的IgEの検査を行った患者さん(日常診療の中で、蛾の関与が疑われた患者さんについて、実施した検査です) 方法: 年齢、性別、疾患名、および「ガ」以外の吸入抗原の特異IgE値を調べ、下記内容の解析を行います。 ① 吸入抗原の特異的IgEの陽性率の比較。 ② 年齢、性別、疾患等とガ感作率との関係。</p> <p>2. 季節および天候と大気中の鱗粉数の関係 対象期間: 2015年1月から2018年12月 方法: ① Burkard Samplerで回収された日ごとの1m³あたりの空中鱗粉数をカウントする。 ② 対象期間の天候を調べ、鱗粉数と季節や天候との関係および蛾の発生時期等を調査する。</p>
(個人情報の利用の目的)	<p>診断・治療内容等を情報を使用しますが、お名前、住所等プライバシーに関する情報が外部に公開されることはありません。また、調査項目は既存のデータあるいは通常の診療で得られるデータであり、新たな検査などの負担が生じることはありません。</p> <p>研究期間(データ収集期間) 2015年1月1日から2018年12月31日</p>
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容: 対象診療期間 2015年1月1日から2018年12月31日</p>
5. 使用する検体	該当しません
6. 病名	ガ特異的IgEの依頼のあった患者の病名(気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど)

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、患者さんに関する調査項目は当院の通常の診療の中で実施された検査結果であり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

e-mail: kamata.tetsuya.ha@mail.hosp.go.jp

(お問い合わせは、なるべく、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)